

千葉商工会議所景気動向調査 (令和4年2月)

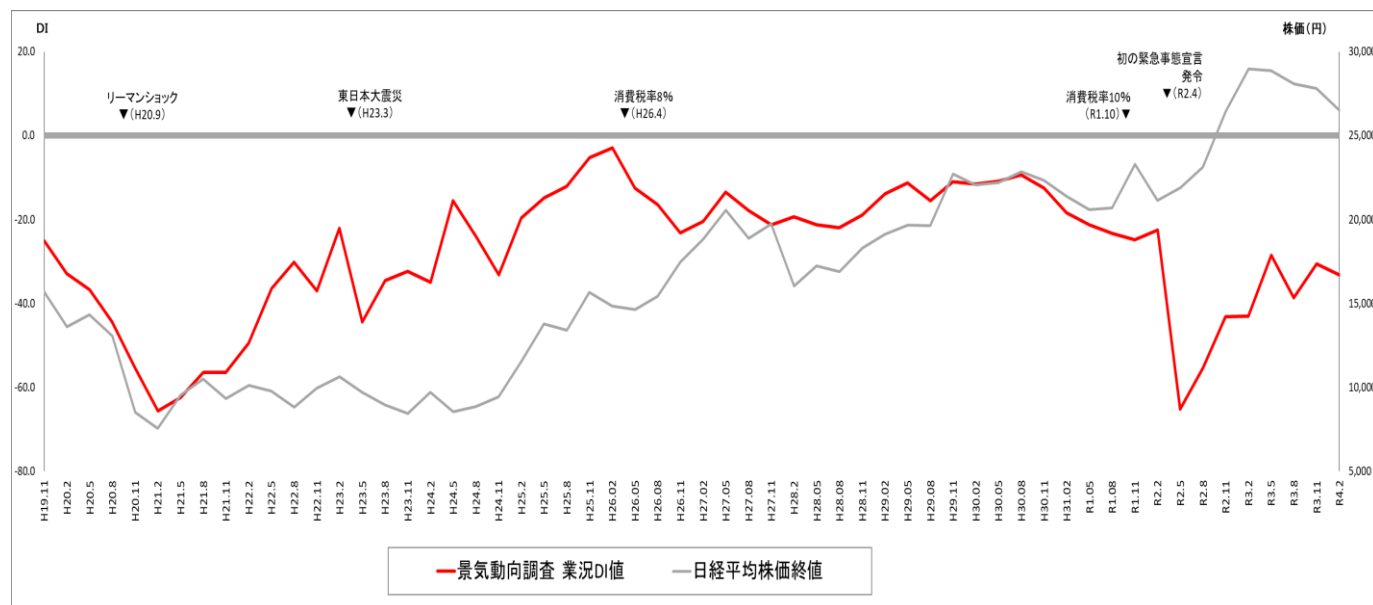
1. 調査期間 令和4年2月1日(火)～24日(木)
2. 調査対象 千葉商工会議所法人会員事業所 500社
(建設・製造・卸売・小売・サービスの5業種、各100社)
3. 回答数・回答率 387社 77.4%(建設72 製造80 卸売81 小売75 サービス79)
4. 付帯調査 「新型コロナウイルス感染症の影響について」
「SDGsについて」

5. 調査結果のポイント

- ▶ 業況DIは、感染再拡大とコスト増により再び悪化
- ▶ 原油・原材料等の高騰により、仕入単価DIが4期連続の悪化となった
- ▶ SDGsの認知度は約75%である一方、実際に取り組んでいる企業は約14%にとどまる

6. 全産業業況DI

(1) 全産業業況DI値および日経平均株価推移

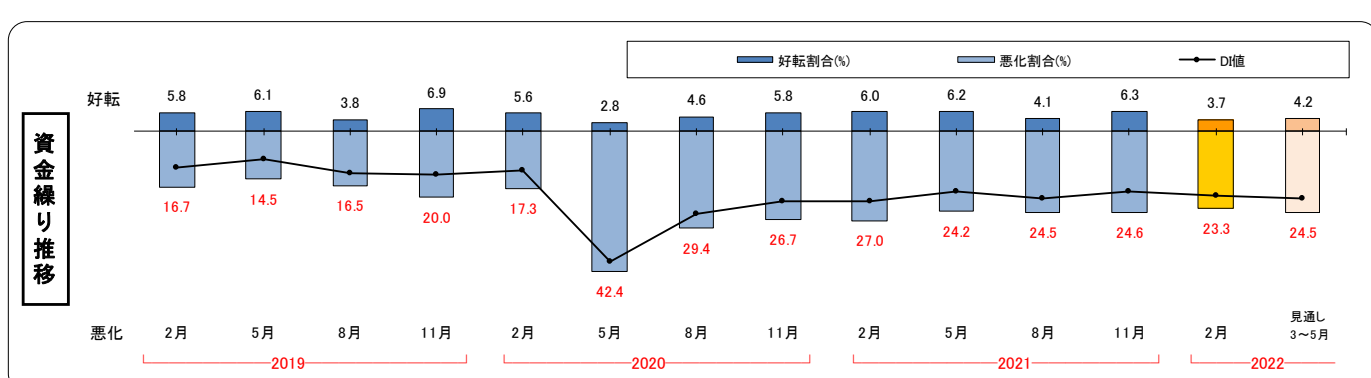
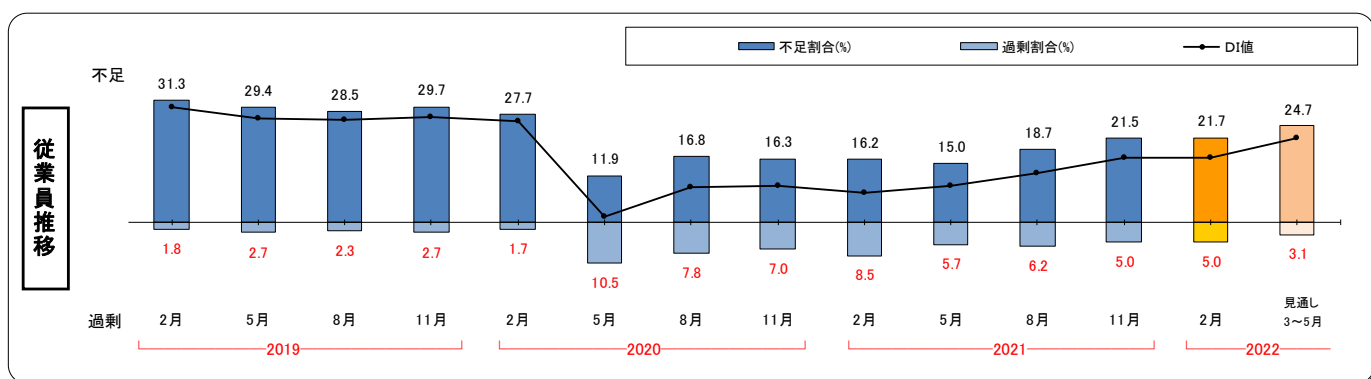
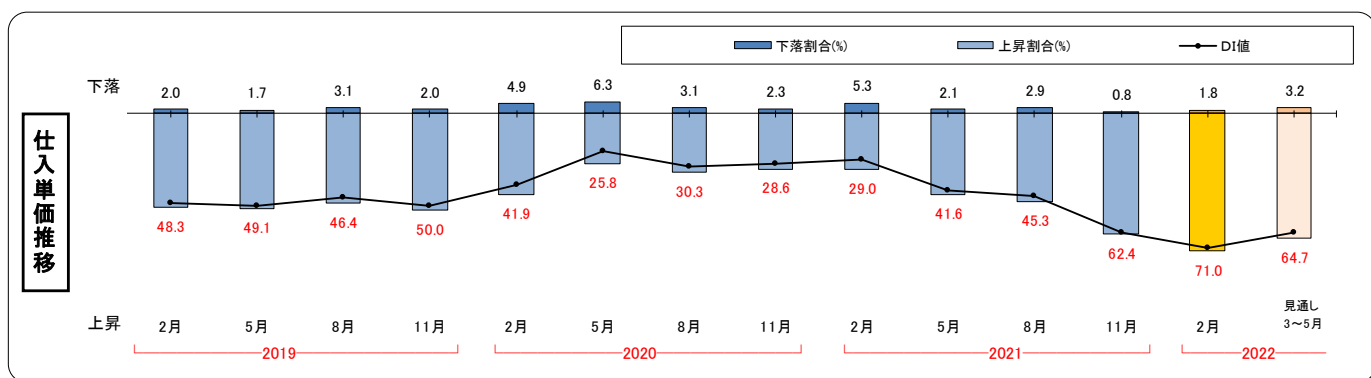
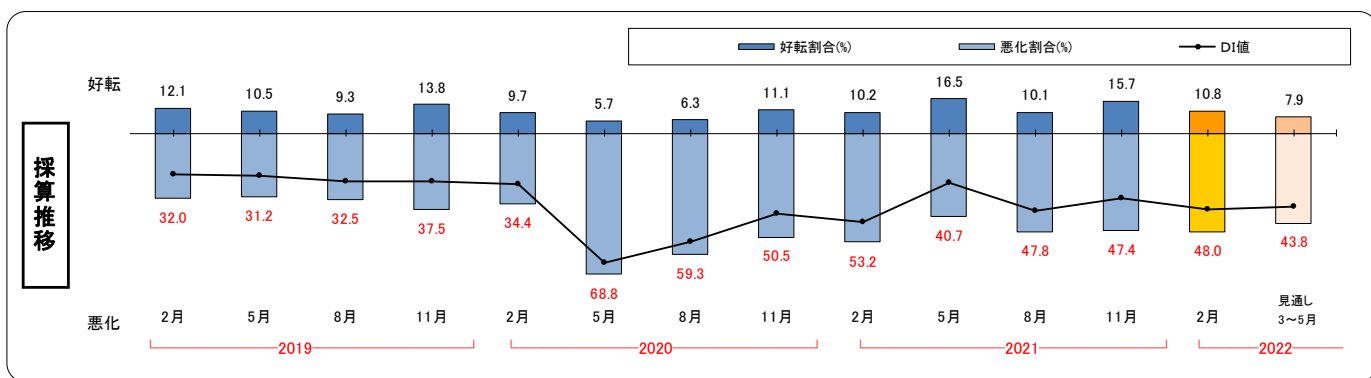
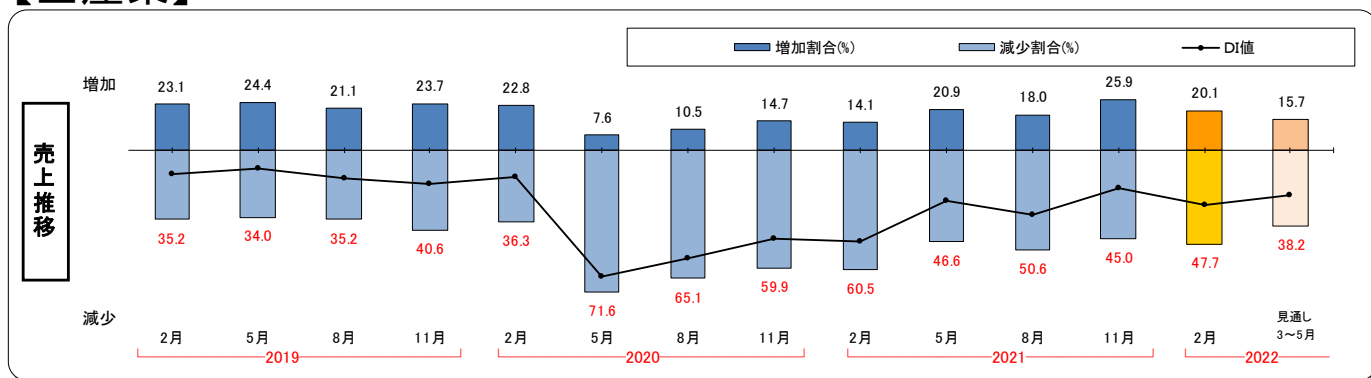


(2) 全産業業況DI値

	全産業	建設業	製造業	卸売業	小売業	サービス業
2月 (前回比較)	▲33.2 (-2.6)	▲28.1 (+17.5)	▲26.9 (±0.0)	▲38.3 (-8.8)	▲50.7 (-4.1)	▲21.8 (-17.7)
3～5月 (先行き見通し)	▲27.7 (+5.5)	▲29.6 (-1.5)	▲22.8 (+4.1)	▲36.2 (+2.1)	▲31.1 (+19.6)	▲18.4 (+3.4)

7. 各DI値の推移

【全産業】



8. 業種別の企業の声

建設業

- ・10日間の自宅待機、濃厚接触の見直し（を行って欲しい）。中小企業だと、仕事がなくなるというよりも、会社の存続危機に関わる。（造園工事業）
- ・業界全体で高齢化が進んでいる。（給排水・衛生設備工事業）
- ・原油高に伴う仕入単価の上昇率により、利益減少が懸念される。（管工事業）

製造業

- ・感染抑制の更なる一手をお願いしたい。人が休むことで業務の停滞が生じ、人的負担が大きくなる。中小企業には人的余裕がないため影響が大きい。（建設機械・鉱山機械製造業）
- ・SDGsを進めたいのは山々だが、コロナ禍による業績不振によりそれどころではない。もう少し手厚い支援が欲しい。（試験機製造業）
- ・事業再構築補助金の申請について真剣に新規事業への変更も含め努力しているが、支援金制度の入り口の敷居が高く、零細企業は難解すぎて手が出ない。（界面活性剤製造業）

卸売業

- ・3回目のワクチン接種を早急をお願いしたい。（非鉄金属スクラップ卸売業）
- ・値上げラッシュが収まらず、価格転嫁に難儀している。（塗料卸売業）

小売業

- ・新型コロナウイルスが落ち着かず、生き残りをかけて色々模索している。補助金、低金利融資等、更なる支援をお願いしたい。（スポーツ用品小売業）
- ・オミクロン株の拡大や、まん延防止等重点措置の適用で来訪客数の減少、人流が大きく減少。人流を考えた上で対策を行って欲しい。プレミアム付商品券の発行も期待する。（靴小売業）

サービス業

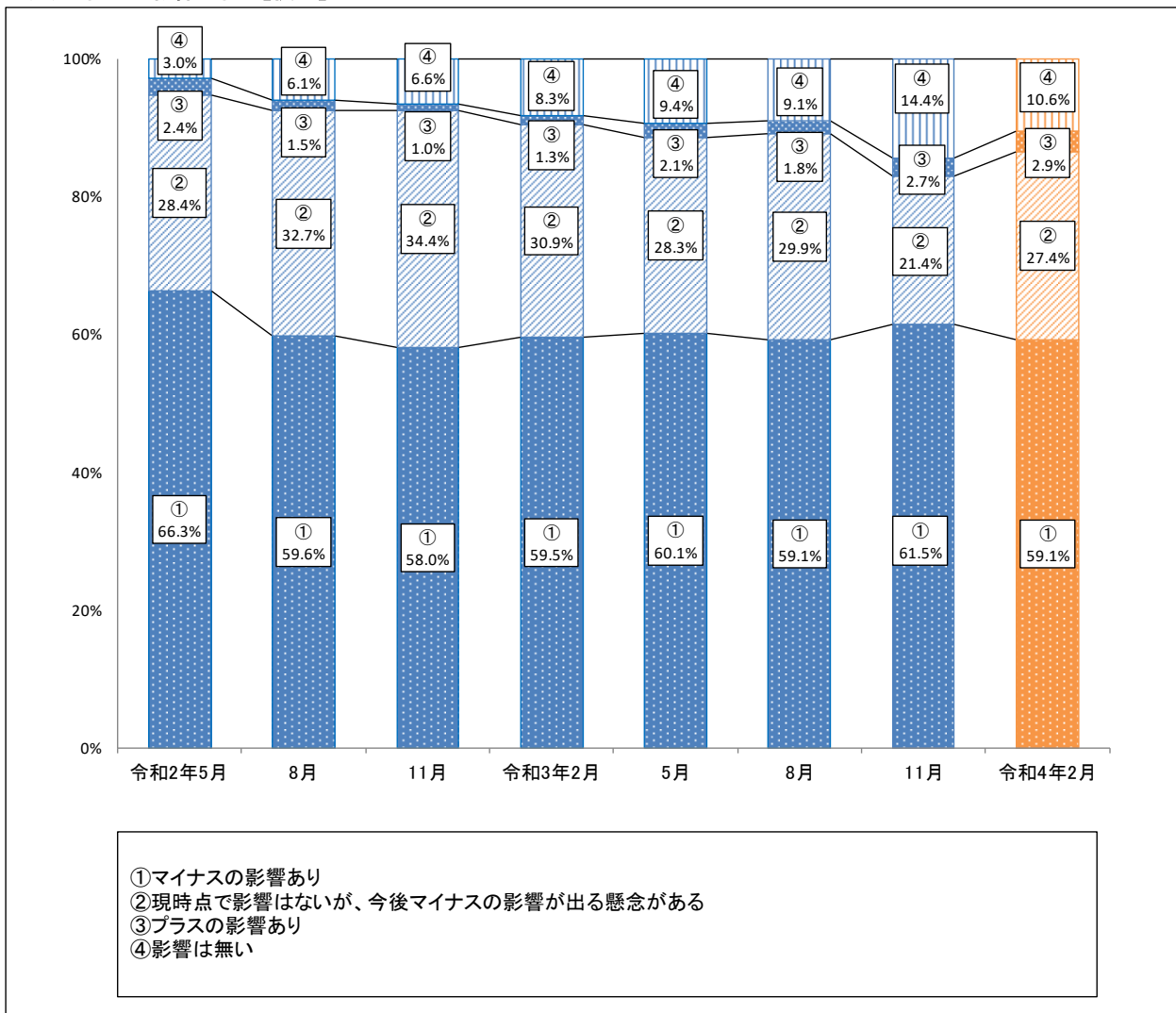
- ・観光業を支援するべく、Go To トラベル・イートの早期再開や千葉とく旅キャンペーンの早期再開を望む。（旅館・ホテル）
- ・人材確保は極めて困難な状況である。零細企業は業態転換が厳しいので、現況に沿って対策しながら継続している。（運輸附帯サービス業）

9. 付帯調査

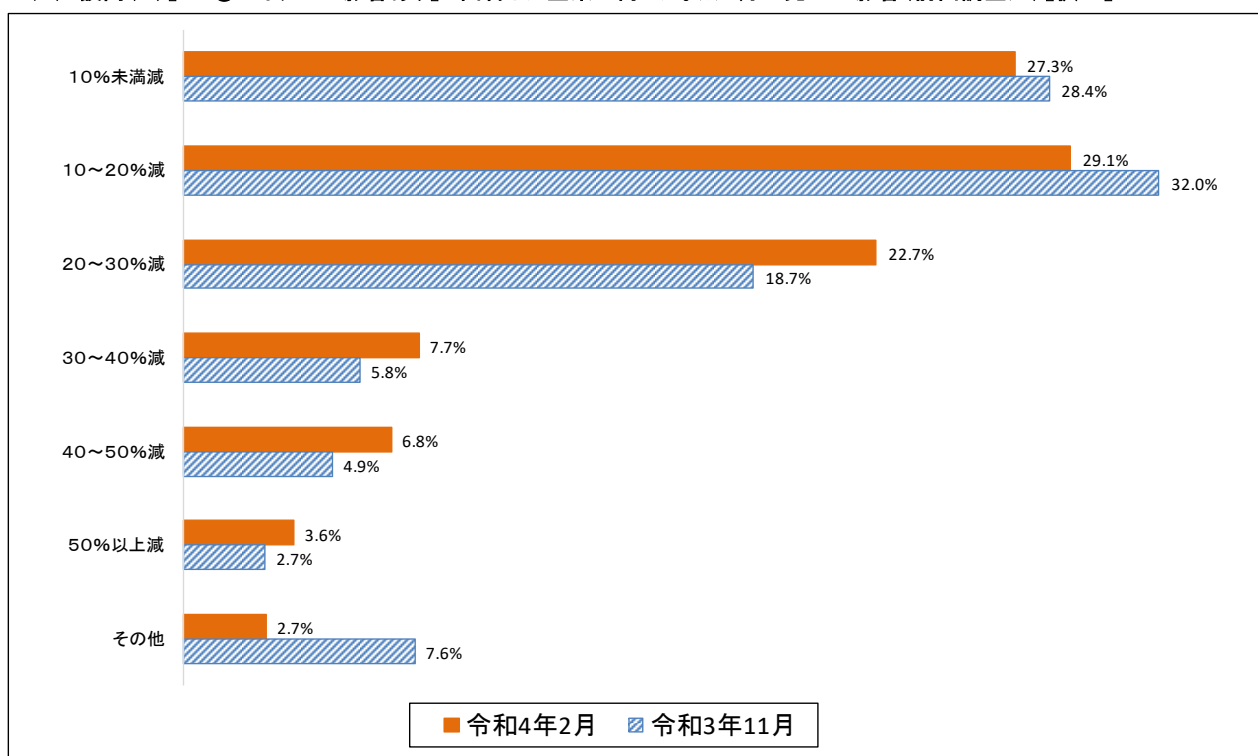
付帯調査結果

「新型コロナウイルス感染症の影響について」

(1) 自社への影響の有無【択一】

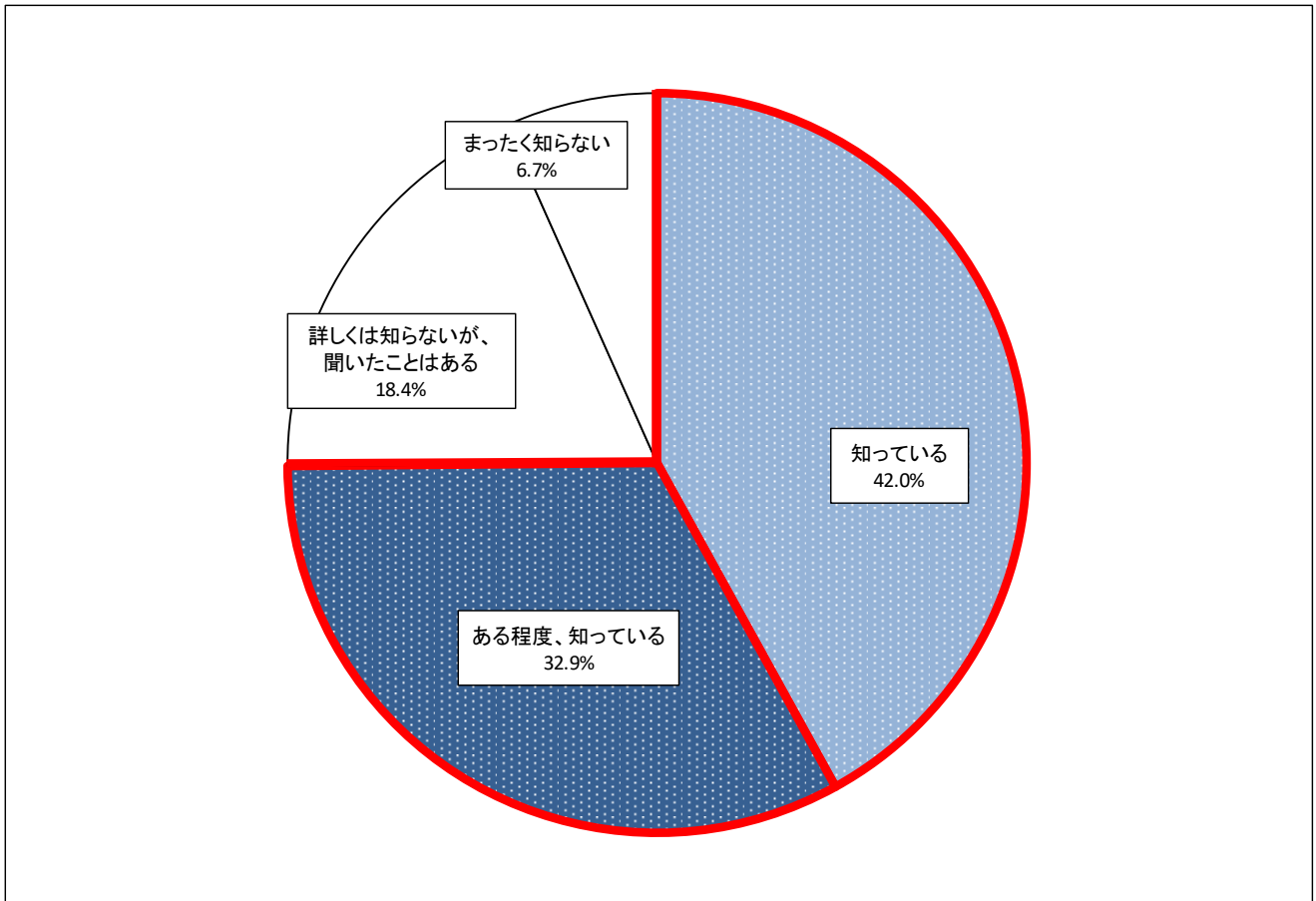


(2) 「設問(1)」で「① マイナスの影響あり」と回答した企業に伺った。※2月の売上の影響(前回調査比)【択一】

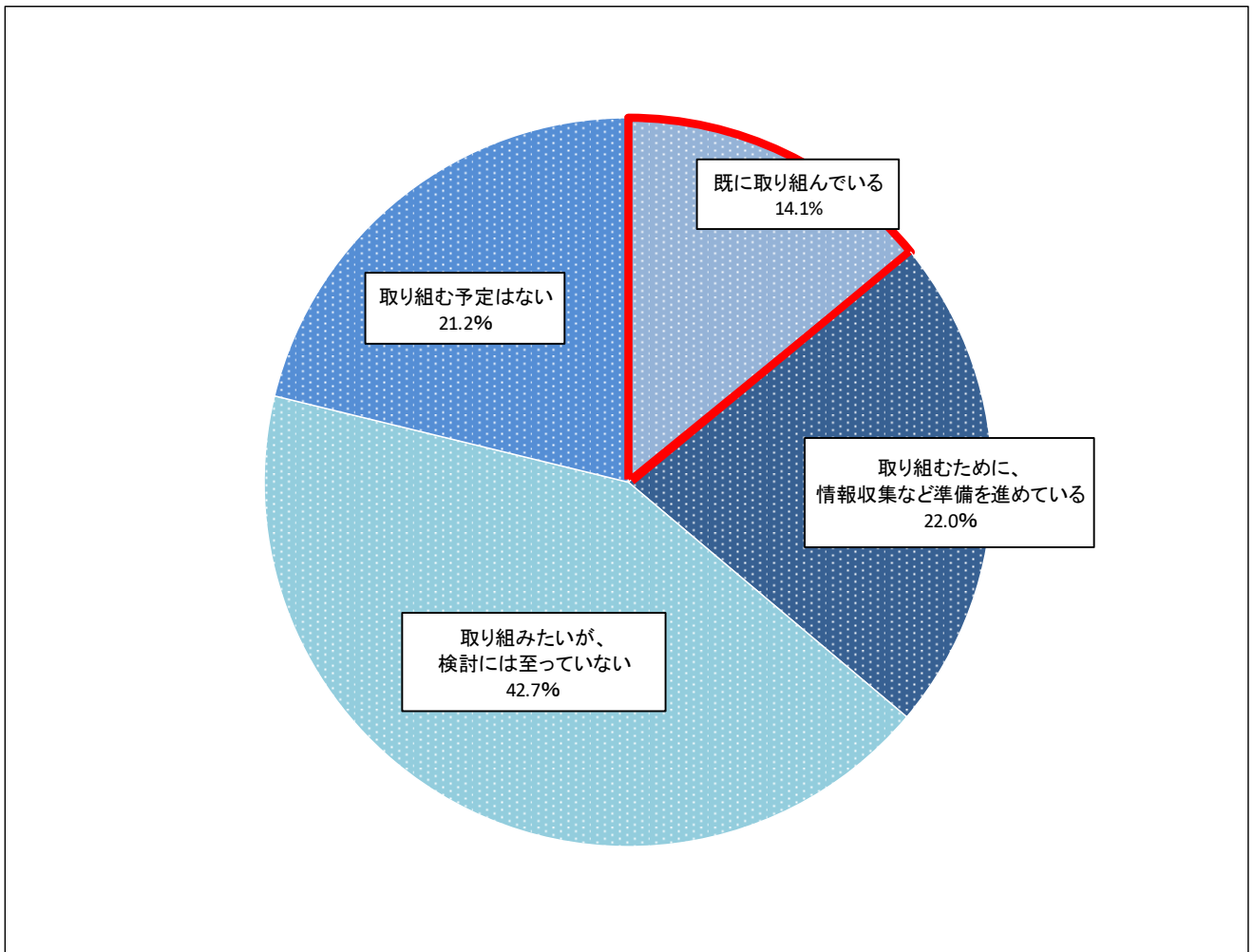


「SDGsについて」

(1)SDGsの認知度について【択一】



(2)SDGsの取り組み状況について【択一】



(3) SDGs の具体的な取り組み内容

建設業

- ・一部ペーパーレス化しており、事務所・工場内の LED 化も進めている。(管工事業)
- ・設備改修時に、CO₂ の少ないものや建物が省エネ効果が高いものを認証できる提案など、付加価値をつけている。(管工事業)
- ・健康経営、脱炭素社会の実現に向けた取組強化。(管工事業)

製造業

- ・環境マネジメントシステムの導入及び運用。(金属プレス製品製造業)
- ・太陽光発電の一部導入を進めている。(プラスチック成形材料製造業)
- ・原材料をカーボンニュートラルに対応した自然素材の原料に置き換え中。
(界面活性剤製造業)

卸売業

- ・資源ごみ回収や、孤児院へのボランティア活動を行っている。(化粧品卸売業)
- ・商品にならない規格外の野菜を商品化(食品ロス削減)している。(食料・飲料卸売業)

小売業

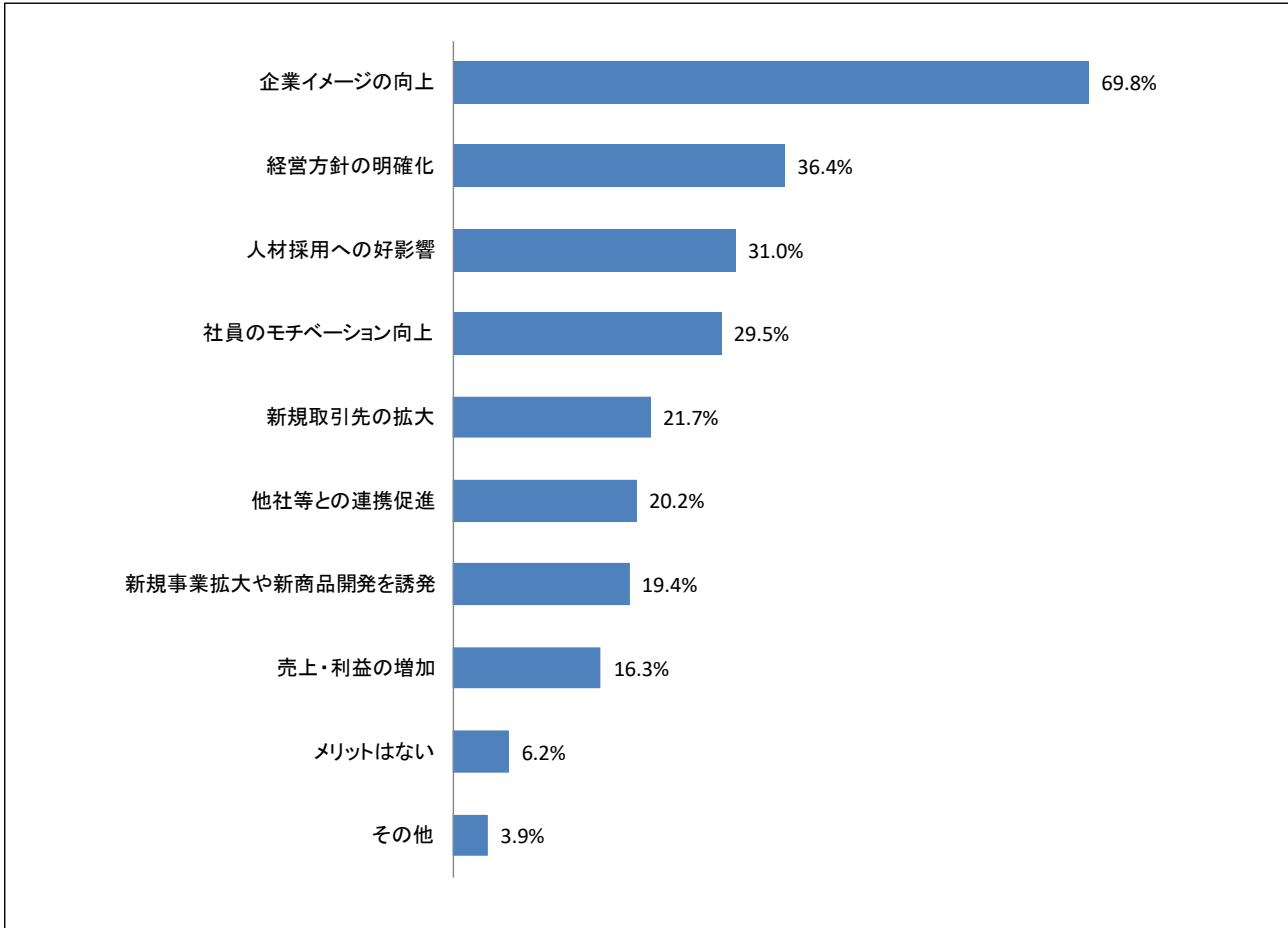
- ・今まで梱包材として使用していたビニールを、環境にやさしいバイオマス素材に変更。
(福祉用品小売業)
- ・障害者雇用や、温室効果ガス排出削減につながる行動。(自動車小売業)
- ・お買い物袋持参運動、CO₂ 排出削減。(総合スーパー)

サービス業

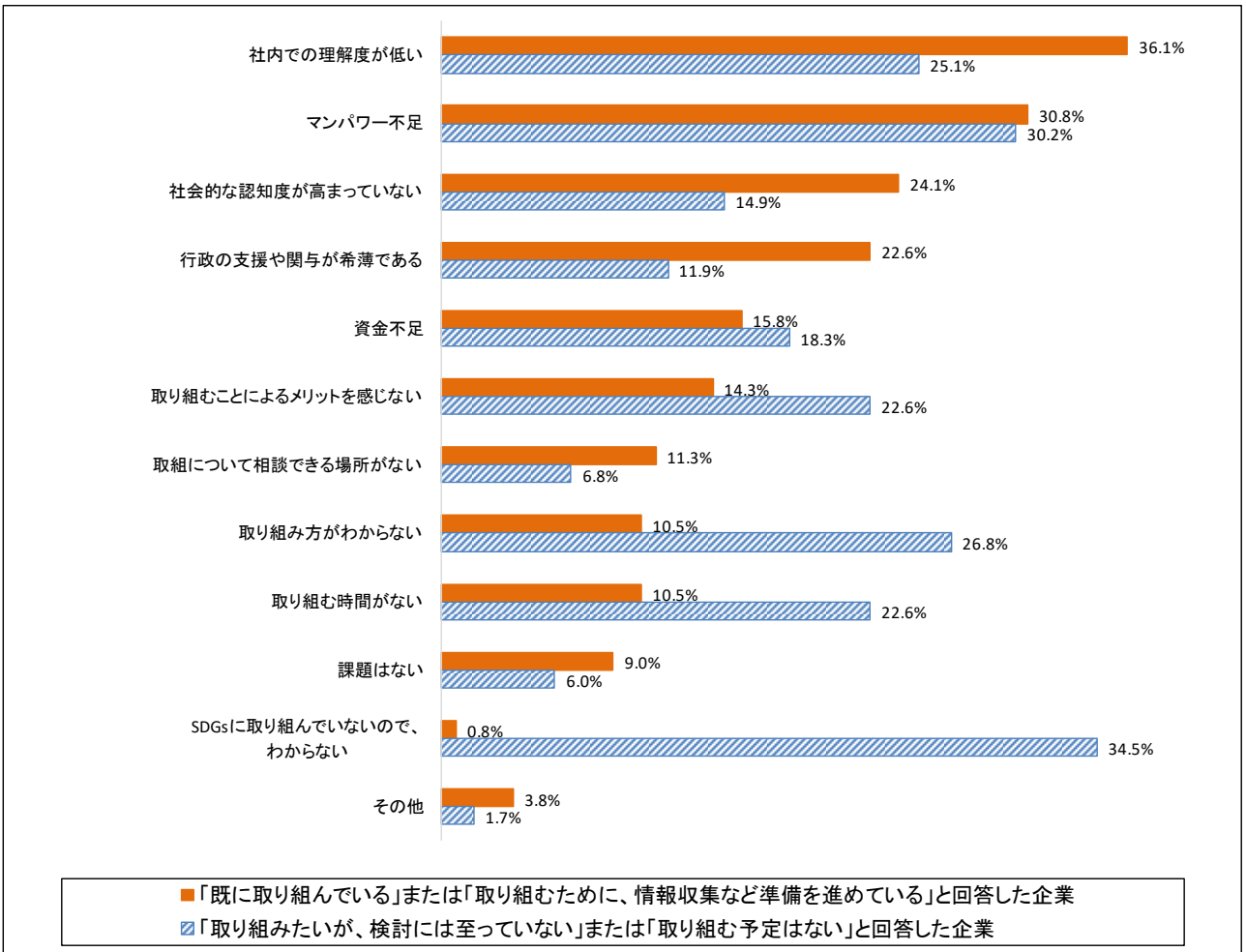
- ・原材料の一部として、フェアトレード商品を購入することにより、砂漠防止や森林保護、貧困防止等に取り組んでいる。(専門料理店)
- ・酒造会社が仕込みに用いた材料や酒粕を使ったサステナブルスイーツを開発し販売。
(旅館・ホテル)
- ・ハイブリッドレンタカーの積極導入。(自動車賃貸業)

(4) SDGsに取り組む際、または取り組む際に予想されるメリットについて【複数回答】

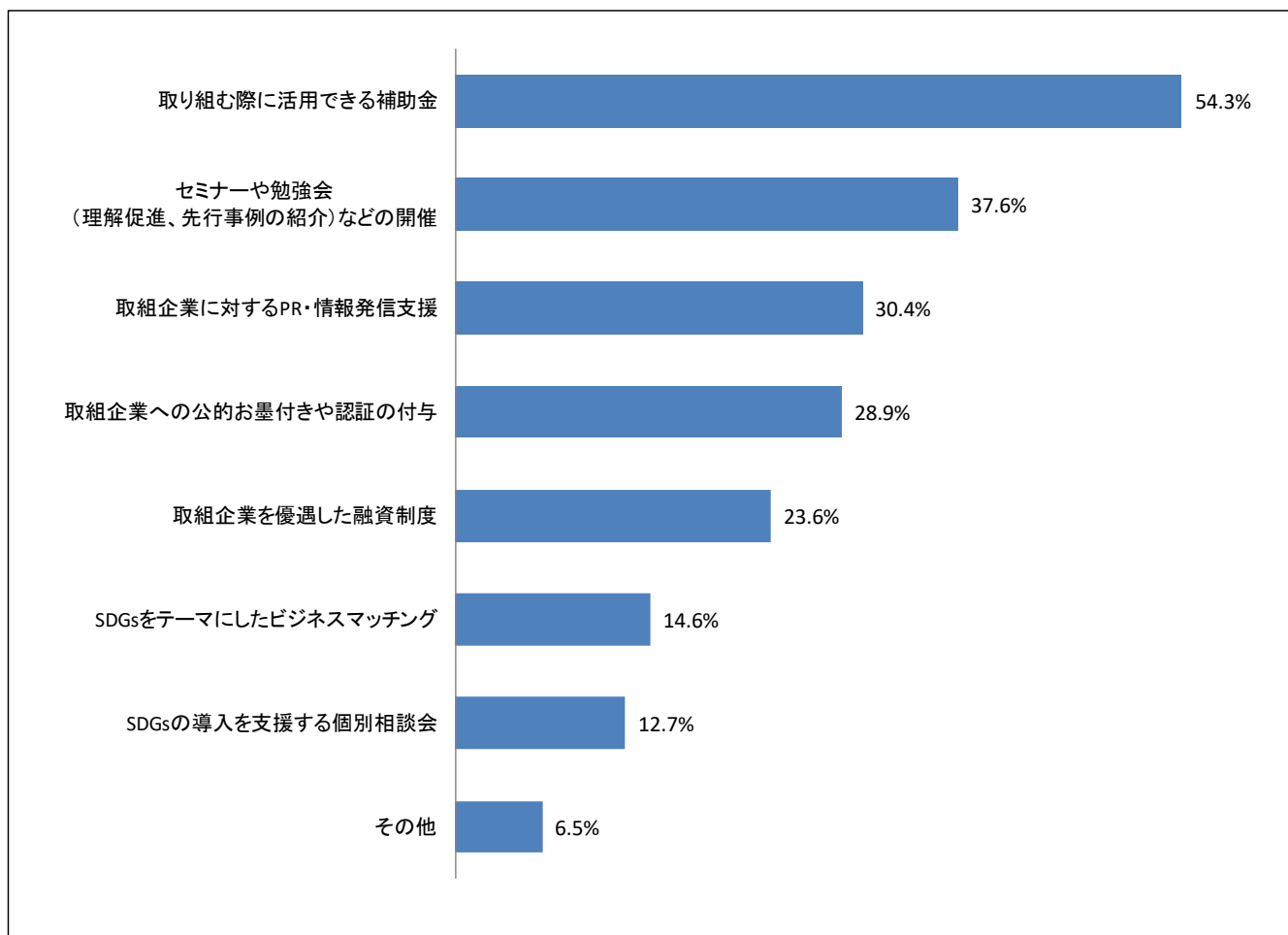
「設問(2)」で「既に取り組んでいる」または「取り組むために、情報収集など準備を進めている」と回答した企業に伺った。



(5) SDGsに取り組む際、または取り組む際に予想される課題について【複数回答】



(6)SDGsに関する支援策に関して、行政や商工会議所などの支援機関に求める内容について【複数回答】



(7)千葉県が創設した「ちばSDGsパートナー登録制度」への関心について【択一】

